

Epoxy Design Floor

エポキシデザインフロア 施工ガイド

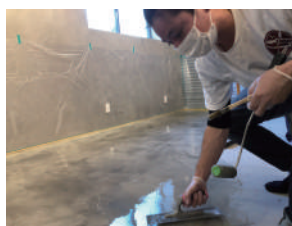
1 下地面を整える(MPC上)

- ・欠陥の無い適した下地整備、埃除去。
- ・密着を妨げる物は全て除去して下さい。



2 プライマー層(必要な場合)

- ・ MPC上施工の場合省略可。
- ・ 同じエポキシをプライマーとして薄塗ります。



3 エポキシ調合

- ・ 2液性のエポキシを2:1で調合してインパクトドライバーにエポキシミキサー棒を取り付け攪拌(低速で3分以上)



4 エポキシ施工

その後フロア面に流し込み(3分以上)スクイージーを使って均一に薄く延ばしていきます。コテやローラーでも施工可能です。



5 気泡を抑える

・ スパイクシューズを使って施工面に現れた気泡や微調整をローラーやプラごて・トーチバーナーを使って押さえ込んでいきます。これを全体に繰り返して均一になったら完了です。



6 色を使う(オプション)

- ・ メタリックカラーパウダーを同じエポキシに混入しミックスさせ流し込みます。
- ・ ループローラーやプラごてを使い色をなじませ色ムラなどを形成します。



舶来土建
材工価格

10㎡まで 工事一式 **¥110,000** (税込)

11㎡以上 平米単価 **¥9,900** /㎡ (税込)

お気軽に
ご相談ください

エポキシ デザインフロア



フロア用クリアエポキシは、コンクリート床シーリング用途で使用される薄膜の2成分樹脂液です。

建築材料として独特な高固形含有の樹脂系床塗装材で、メタリックカラーパウダーを顔料とし鮮やかでダイナミックなデザイナー効果をもたらすコンクリート床の美化を図る。床に求められる性能、さらされる環境、光の反射率により、エポキシ仕上げの上から他の樹脂系のトップコート(ポリウレタン)を塗装する事により、光沢の加減、化学薬品等への耐性、耐摩耗性、抗菌性を高める事が可能。

- ・継続的な熱屈曲または建物の沈下により地下に亀裂が生じた場合、床はそれらのひびをある程度反映する可能性があります。
- ・適用される表面には注意深い準備が必要であり、結合の失敗を引き起こす可能性のある汚染。限られたUV安定性-屋外用途には推奨されません。
- ・いずれかの材料が4℃未満の持続的な温度にさらされた場合、結晶化が起こる可能性があります。寒い時期には注意が必要で、使用前に材料を15℃まで温めて使用します。

アセトン又はイソプロピルアルコールをご用意下さい。

※注意点としてエポキシで使用した道具はアセトン溶剤で洗浄する必要があります。

■施工範囲目安
プライマー層 約 44㎡ / 1.5 ガロン 【0.1mm塗り厚の場合】

標準ベース層
約 13㎡ / 1.5 ガロン 【約 0.3mm塗り厚の場合】

■期限と管理
容器の寿命は製造日から1年。
未開封のままで、湿気、過度の熱および凍結温度、直射日光のない保護された環境に材料を保管する場合。

■使用場所
衛生的な外観のフローリングエリア
・ オフィス、レセプション会場、レストラン、ラウンジ、ナイトクラブ、娯楽場、ダイニング施設、ショールーム、フィットネスクラブ、ロッカールーム、カフェテリア、食品販売店、住宅地下室、ガレージの床など様々な場所にて。

■施工ガイド概要
・ 通常の周囲硬化条件(気温 18~26℃、湿度 25~65%) :
ゲル化時間 : 25分 ドライタッチ : 3-4時間 軽い歩行 : 8-12時間

■その他性能値
圧縮強度 : 12,900 psi
吸水率 : 1%未満
引張強度 : 4,400 psi
VOC : 3g/l

舶来土建

TEL:076-233-3150

舶来土建株式会社 石川県金沢市駅西本町 4-1-17